

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年2月12日(日)

学校法人清麗学園 両国幼稚園

1. 本園の教育目標

- ①たくましい活動力とそれを成し得る健全な心身を持つ子ども
- ②自分で考え、感じ、生き生きと自主的に行動することのできる子ども
- ③社会生活の正しい習慣が身についた子ども
- ④豊かな情操と共に、創造性のある表現ができる子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

英語や看護などの専門職を配置し、多角的に子どもたちの個性を見立て、支援していく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	特別支援教育のための園内支援体制の構築	A	スクールカウンセラー・理事長（公認心理師）・看護師の万全な体制のもと、担任、家庭、関係機関との連携も図れた。
2	英語教育の徹底	A	英語コーディネーターを配置したことで、ネイティブ講師との交流が進み、英語レッスンの質の向上につながった。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	2つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、子ども1人1人の個性や特性への理解が深化した。園の活動自体も、専門職のアイデアを受けて進化。多業種交流により、教職員の刺激につながった。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	仏教教育の徹底	全体集会を再開する。仏教的な教えに基づき通年テーマを決め、12月の成道会を含め12回開催。保育者の実践を兼ね、質の高い演出で盛り上げ、子どもたちの理解を深める。
2	園内研修の充実	「虐待等防止及び発生時に関する指針」を教職員間で共有し、不適切保育が発生しないよう、意識の見直しを図る。

6. 学校関係者評価委員会の評価

子どもたちが伸び伸びしている。活動や行事での活発な子どもらしさと、丁寧な言葉遣い・綺麗な所作のTPOがあって、良い。コロナの制限がなくなった来年度の新しい取り組み。楽しみである。